

# 坂出市 公共施設等総合管理計画【概要版】

～持続可能な行財政運営のために～



平成28年12月



香川県 坂出市

# はじめに

## 公共施設等総合管理計画の目的

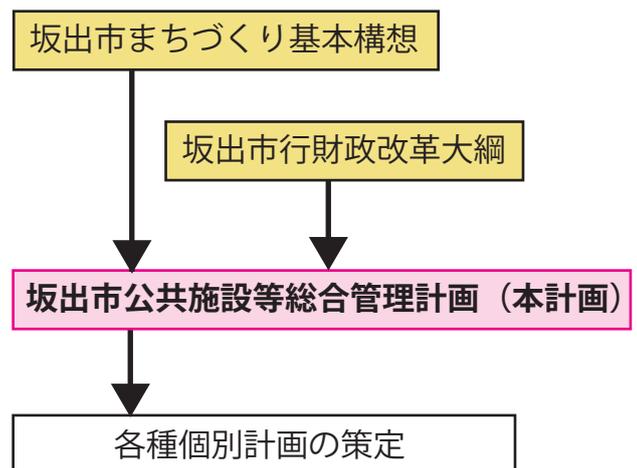
我が国においては、高度経済成長期から急激な人口増加と社会構造の変化に伴う行政需要の増加に応じて、学校施設、福祉施設、市営住宅、道路や橋りょう等の多くの公共施設等の整備が進められてきました。これらの公共施設等は、その多くが整備後、長期間を経過し、老朽化が進んでいることから、今後、本市においても将来の公共施設等に係る大規模改修や建替等の更新費用が増加することが予測されます。

本計画は、厳しい財政状況や、人口減少等の様々な社会情勢を踏まえ、公共施設等の全体像を明らかにし、長期的な視点をもって、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として策定するものです。

## 本計画の位置付け

本計画は、本市の上位計画である「坂出市まちづくり基本構想」を下支えする計画であり、「坂出市行財政改革大綱」と連動して、各政策分野の中で公共施設等の総合管理について横断的な指針を提示するものです。

また、各種施設に対する長寿命化計画等の既に策定済みである個別の公共施設計画については、本計画の方針との整合性や計画自体の実現可能性を相互に検証します。



## 計画期間

平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 年間です。

## 計画の対象

本市が保有している全ての施設を対象とします。公共施設は 3 つの類型(建物系公共施設、インフラ系公共施設、企業会計系公共施設)に分類されます。

類型区分	主な施設
建物系公共施設	市役所, 小・中学校, 市民ホール, 公民館, 市営住宅など
インフラ系公共施設	市道, 橋りょう, 港湾, 漁港, 下水道
企業会計系公共施設	水道施設, 病院施設

# 公共施設の基本的な管理方針

## 公共施設等の課題

### 施設の老朽化

本市が保有する公共施設等について、その多くが大規模改修を本格的に実施する時期に差し掛かっています。また、建替等が必要な建物が今後増加していきます。

### 住民ニーズの変化

今後、さらなる高齢化の進行に伴い、介護や支援のニーズが増えることが予測されます。また、生産年齢人口の減少や女性の社会進出の進展に伴い、子育て支援施設のニーズも増加すると考えられます。バリアフリー化や環境負荷を軽減させる設備等の導入についても引き続き対応を進めていく必要があります。

## 基本目標

今後の財政力に応じて施設の総量抑制を図るとともに、活用施設について、利用者ニーズに応じた質の向上を図ります。

以下に示す4つの考え方にに基づき、公共施設の再生に向けて、取組を進めていきます。

### 1. 施設の総量抑制と多機能化・複合化の推進

新規整備を抑制しつつ、施設の統廃合や、建物の多機能化・複合化を推進し、市全体を見据えた公共施設の総量抑制と適正な再配置を進めていきます。

### 2. 建物の構造的・機能的な長寿命化の推進

対症的な維持管理から、定期的な点検に基づく予防保全型の維持管理へ転換を図ります。

### 3. 地域の活動拠点・防災拠点としての公共施設の再生

住民ニーズに対応した複合的な利活用の推進や、災害に強い公共施設へと機能強化を進めていきます。

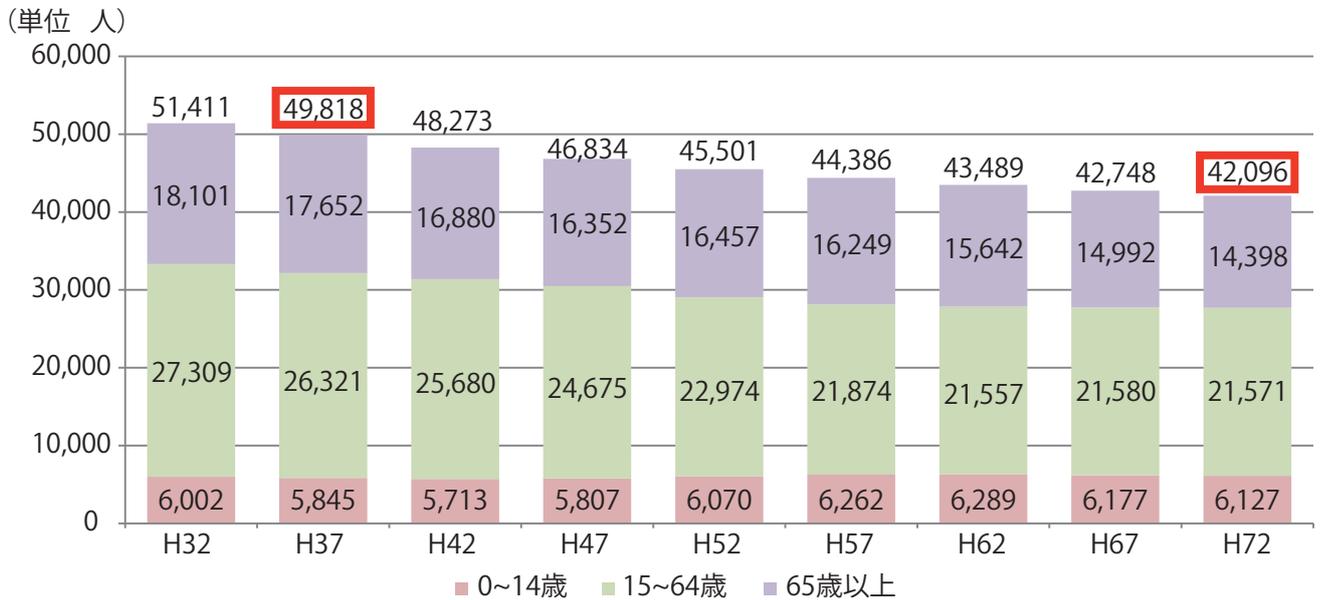
### 4. 財政負担の軽減に向けた取組の推進

民間施設の借上げ等による財政負担の軽減や公共施設の受益者負担の適正化等を検討していきます。

# 公共施設を取り巻く現状 ～人口と財政～

## 将来の人口推計

- 平成27年10月に策定した「坂出市人口ビジョン」において、平成37年(計画最終年度)の将来人口展望を49,818人、平成72年は42,096人と設定しています。

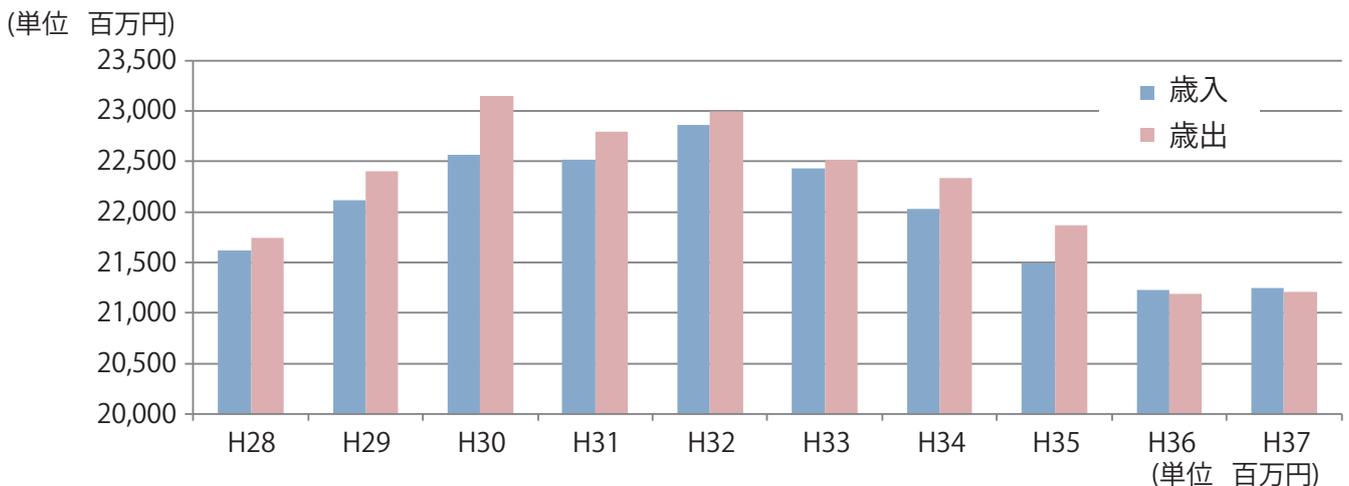


(資料：坂出市人口ビジョン[平成27年10月])

(注)四捨五入のため合計値が合わないことがあります

## 財政収支の見通し

- 各年度にわたり一定の収支不足が生じ、財政調整基金からの繰入により収支均衡を図る状況が予測されます。
- その場合、財政調整基金は平成26年度末の約29億円から、平成37年度末には約10億円に減少する見込みです。



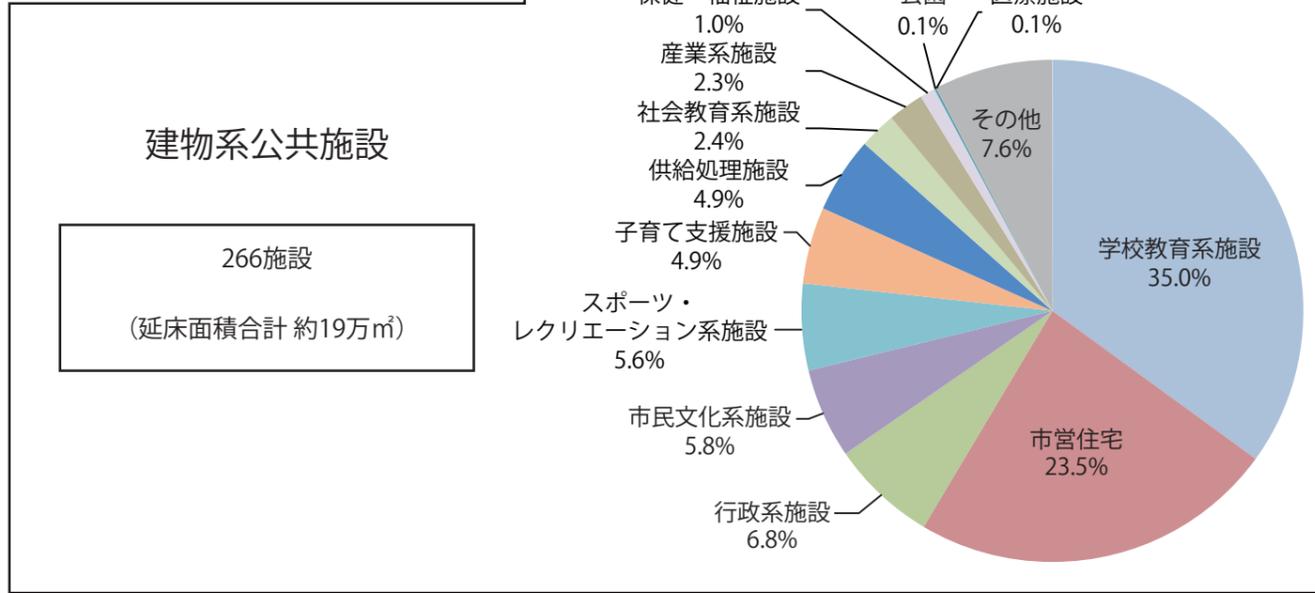
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
歳入	21,622	22,122	22,568	22,515	22,860	22,437	22,028	21,493	21,233	21,248
歳出	21,742	22,408	23,154	22,800	22,997	22,519	22,342	21,867	21,190	21,210

(資料：坂出市まちづくり基本構想[平成28年3月])

(注)収支不足に伴う財政調整基金からの繰入金は計上していません

# 公共施設を取り巻く現状 ～公共施設の整備状況～

## 保有する公共施設



**インフラ系公共施設**

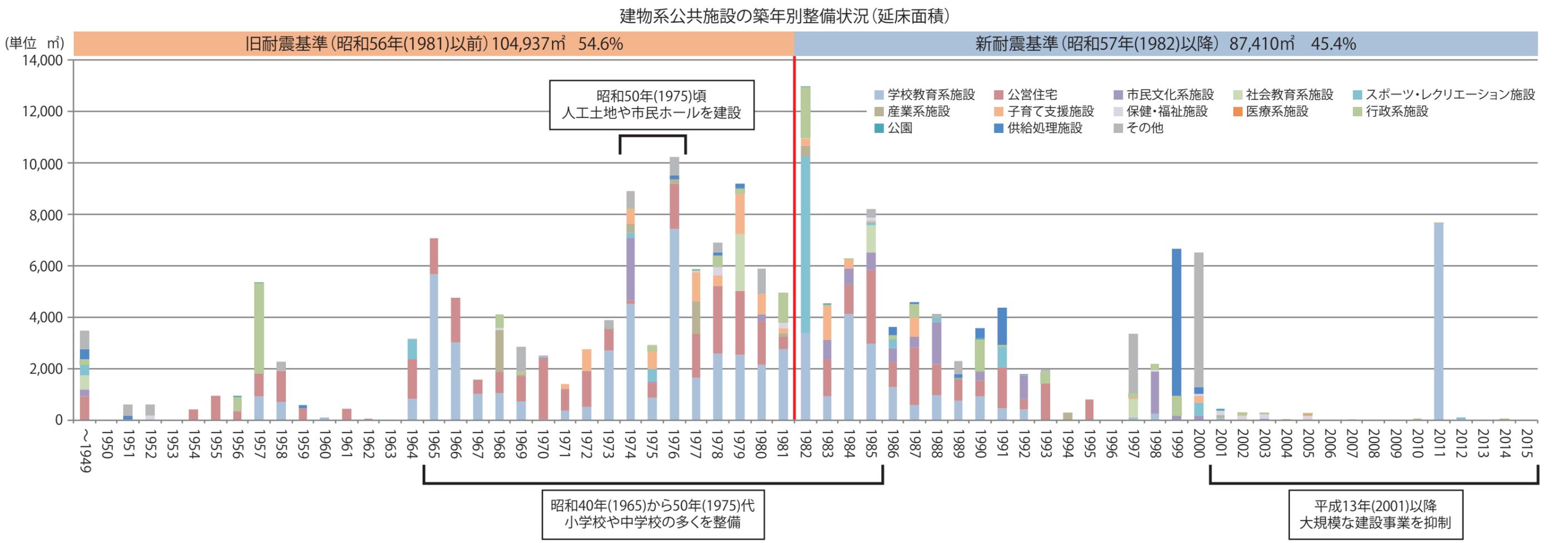
施設名	延長,箇所数
市道	車道 380,363m
	歩道 76,191m
橋りょう	2,632m
港湾	3箇所
漁港	6箇所
下水道施設	管路総延長95,043m

**企業会計系公共施設**

施設名	延床面積,延長
水道施設	管路総延長 473,731m
	上水道施設 4,082㎡
病院施設	15,888㎡

## 公共施設の老朽化と更新時期の到来

- 建築基準法改正前の昭和56年以前に旧耐震基準で建築された建物の延床面積は約10万5千㎡で、全体の約54.6%を占めています。
- 全体の約半分にあたる建物が建築から既に30年以上経過しており、今後大規模な改修や建替が必要となることが予測されます。



# 公共施設の将来の更新費用推計

## 更新費用推計

建物系公共施設, 病院建物, 市道, 橋りょう及び下水道施設(管渠)の更新費用推計には, 総務省から提供されている公共施設等更新費用試算ソフトウェアを使用しました。港湾施設及び漁港施設については, 本市において既に試算している更新費用に基づき, また, 上水道施設については, 「坂出市更新事業計画」に基づき推計を行いました。

## 更新費用の推計結果

本市が所有する全ての公共施設等について, 現状規模のまま維持を行った場合, 今後40年間で約1,747億3千万円かかることが分かりました。年平均を計算すると, 毎年約43億7千万円かかる試算です。直近5ヵ年の投資的経費は年平均で約34億1千万円であり, その額を全て割り当てても約9億6千万円の不足が生じる見込みです。なお, 本計画における推計には, 今後発生する可能性のある新規整備や毎年の維持管理に要する費用は含んでいません。したがって, それらを考慮すると, 投資的経費の全額を大規模改修や建替へ割り当てることは困難であると考えられます。

人口減少・少子高齢化が進むとともに, 市の財政が大きく好転することが見込めない社会経済情勢下において, 現在保有している公共施設の全てをそのまま保有し続けることは現実的ではないと考えられます。公共施設の再配置を進めるとともに, 持続可能な公共施設の保有量へと縮減を進めていく必要があります。

全ての公共施設の更新費用

(単位 億円)

	建物系 公共施設	インフラ系 公共施設	企業会計系 公共施設	合計
更新費用 (40年間の平均)	22.4	14.8	6.5	43.7
投資的経費 (直近5ヵ年の平均)	17.5	11.8	4.8	34.1
不足分	4.9	3.0	1.7	<b>9.6</b>

(現在保有している公共施設の全てをそのまま保有した場合)

# 今後の推進に向けて

## 全庁的な推進体制

本計画の意義や方向性を全庁的な共通認識とし、施設を管理する所管課と関係課が相互に連携・協力を図りながら、着実に取り組んでいく必要があります。

## 職員のマネジメント意識の共有

公共施設等の維持管理・更新に関する問題に対して全庁的に取り組むために、庁内での研修等を通じて職員の意識啓発に努めていきます。

## 市民及び議会との情報共有

本市の公共施設等に関する課題を分かりやすく発信し、市民や市民の代表である議会の理解と協力を得て合意形成を図ります。

今後、

- ・ 公共施設の再配置
  - ・ 持続可能な公共施設の保有量への縮減
- などの検討が必要

## フォローアップの実施方針

本計画を継続して発展させ、公共施設等の適正配置を推進するために、本計画を踏まえた各公共施設等の取組状況に応じて、本計画の進行管理を行い、適切なタイミングで目標や方針の見直しを実施します。

## 坂出市 総務部 政策課

〒762-8601 香川県坂出市室町二丁目3番5号  
Tel:0877-44-5001